

Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2022/09/13

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	36.30	-0.09
JPY/THB	0.2540	-0.0012
USD/JPY	142.84	0.37
EUR/THB	36.73	0.20
EUR/USD	1.0122	0.0080
USD/CNH	6.918	-0.020
SGD/THB	25.99	0.01
AUD/THB	24.99	0.10
USD/INR	79.53	-0.06
USD Index	108.33	-0.67

Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	2.180	0.012
10Y (THB)	2.785	0.017
5Y (USD)	3.449	0.014
10Y (USD)	3.358	0.048

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	1,730.8	12
WTI (Oil)	87.78	0.99
Copper	7,955.5	99.0

Stock

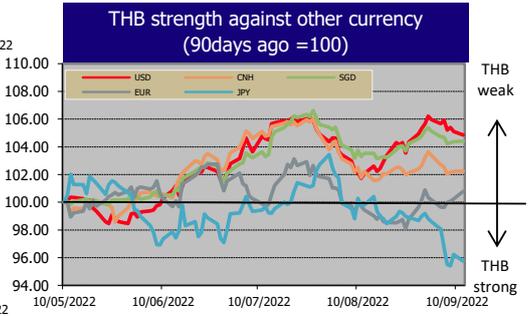
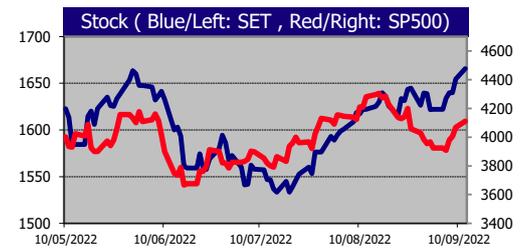
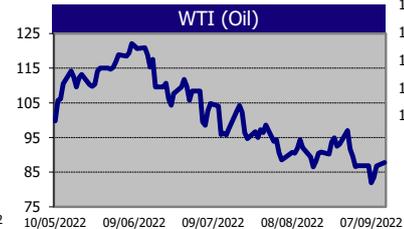
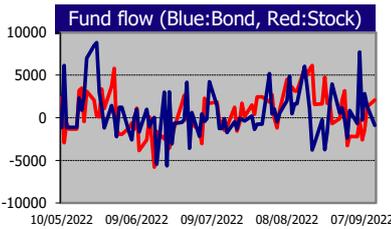
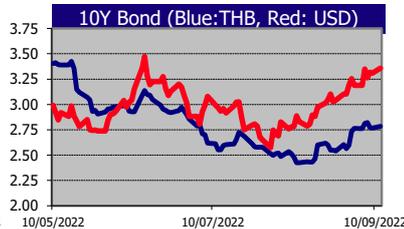
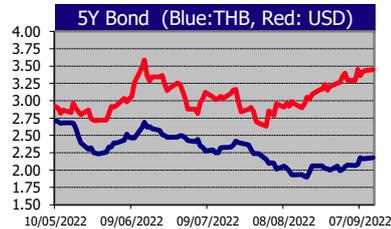
	Close	CHANGE
SET (TH)	1,665.74	11.12
NIKKEI (JP)	28,542.11	327.36
DOW (US)	32,381.34	229.63
S&P500 (US)	4,110.41	43.05
SHCOMP (CN)	3,262.05	0.00
DAX(GER)	13,402.27	314.06

Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	2,067	767.9
Bond net flow	(899)	-2236.7

*compared with previous day

(Source: Bloomberg)



Yesterday's market summary

●ドルパーツ

・昨日のドル/パーツは材料に乏しい中、狭いレンジで推移。週明けのドル/パーツは36パーツ台半ば付近でスタート。序盤こそ上昇する場面が見られたものの、翌日に米8月CPIの発表を控える中、36.50付近で失速。終盤にかけては米金利の低下も相まって上値の重い推移が継続し、結局36.30レベルでクローズを迎えた。

●ドル円その他

・昨日のドル/円は小幅に上昇した。先週、円安対応を協議するとして、財務相・金融庁・日銀による3者間会議が開かれ、一時は141円台半ば付近まで下落したドル/円であるが、週明け、一旦は介入の思惑に伴う円買いも一巡する中、143円台半ばまで上昇。然しながら、その後は材料に乏しい中、米金利の動向に振られる展開。海外時間序盤には米金利の低下を横目に一時142円台前半まで下落するも、終盤にかけて米金利が上昇に転じるとドル/円も142円台後半まで戻し、142.84レベルでクローズとなった。

Bangkok Dealer's Eye

20~21日のFOMCの前に今週は米国重要指標の発表を多く控えており、まずは本日、8月CPIが発表される。パウエルFRB議長は先月のジャクソンホールでインフレ抑制に対し強いメッセージを発したが、その後の同氏の講演等を見ても、そのスタンスは変わっていないように見受けられ、マーケットでは今月のFOMCにおける75bpの利上げはほぼ織り込まれている。今回のCPIについて、市場予想では原油価格の低下等を背景に前回から上昇は鈍化すると思われるが、先述のパウエル議長の姿勢に鑑みれば、多少のCPIの鈍化によって米国の利上げ方針が変更されるとは考え難く、むしろ相場に与えるインパクトは強い結果が出た際の上方リスクの方が高いと見ている。発表は本日バンコク時間19時30分。結果を注視しておきたい。(末廣)